

平成30年度学校評価書

平成31年3月

学校法人北海大谷学園 札幌大谷第二幼稚園

学校法人北海大谷学園

理事長 三浦 崇 様

平成 30 年度札幌大谷第二幼稚園学校評価書を取りまとめましたので、
ご報告いたします。

なお、本評価書は学園理事会及び評議員に報告後、幼稚園ホームページ等により
公表する予定です。

平成 31 年 3 月

札幌大谷第二幼稚園
園長 松田 志穂

記

- 1 札幌大谷第二幼稚園学校評価委員会 報告書
- 2 札幌大谷第二幼稚園自己評価
- 3 資料
 - (1) 教員自己評価
 - (2) 保護者アンケート結果
 - (3) 保護者意見への回答
 - (4) 札幌大谷第二幼稚園学校関係者評価委員会設置要領

平成 30 年度

札幌大谷第二幼稚園 学校関係者評価報告書

平成 31 年 3 月 20 日（水）に実施された、当年度第 2 回目の学校関係者評価委員会において、第 1 回目の評価委員会で示され、検討を加えられていた評価項目、アンケート内容等について資料に基づく報告と説明を受け、質疑が交わされた。

報告と内容は以下の点である。

- (1) 教員自己評価集計結果について
- (2) 保護者アンケート集計結果について
- (3) 幼稚園評価について
- (4) その他

今年度の学校関係者評価については、前年度、評価委員会から高く評価された保育活動と保育内容の全体から、特に、当園の特色とも言える「食育」にポイントを絞ってその活動を精査・実施し、子ども達の豊かで総合的な育ちの観点から、これを評価したい、との課題が示され、年間を通しての「食育の取り組み」とその成果について評価が行われた。

(1) 教員自己評価

評価「B⁺」

テーマ「子どもたちに食の楽しさと大切さを伝える～園生活を通しての食育」

評価項目と結果（別紙）

質問項目 1 - 1、1 - 3 から、食育に関する自己研修に若干の課題があることが見える。他の子どもたちとの日々の直接的な食育活動等については自己評価も高い。

保育の質を支える教師集団の研修環境を見直し、教員全体で「食育についての意義と内容」「栽培と食育」「料理と食育」「行事と食育」「仏教と食育」等々の更なる共通理解を図ることが求められる。

当園の教師集団の質の高さは定評のあるところであるが、質の高さの継続的な発展を求め続けなければならない。そのためには勤務形態の違いにも配慮を加え、個々の教員の研修に関する自己評価の向上を期待したい。

(2) 保護者アンケートによる評価と考察

アンケート項目と集計結果（別紙）

評価「A」

アンケート項目の 10 への回答結果から当園の食育活動が 100%の親から評価され指

示されていることが分かった。また、菜園での栽培や試食、野外活動での子どもたちへの七草等への関心喚起や食体験(ヨモギもち・タンポポの葉のふりかけ等)、調理と食体験など、子どもたちだけでなく、幼稚園発、家庭の若い親に向けての「食育発信」になっている。

また、子どもの各家庭でのお手伝い(買い物や調理)にも結び付いていることがわかった。

これらのことを踏まえて、当園の「食育」と関連の保育活動が親から大変高く評価されていることが理解できた。

(3) 幼稚園の「食育」の取り組みについて(全体評価) 評価「A+」

テーマ「子どもたちに食の楽しさと大切さを伝える～園生活を通しての食育」

評価項目と5段階評価による評価及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(別紙)

個別の評価項目において、1と12が「2」とされているなど自己評価は厳しい傾向にあった。委員は自己評価に関する項目ごとの報告を受けながら「楽しい園生活と食」「遊びを通しての食育」「食と遊びと表現」「食と行事・行事と遊び」「仏教保育と食」「町内会やお年寄りとの行事・食育」について質疑が交わされた。

そして質疑を踏まえた全体評価にあたって、評価委員から特に高く評価された点は、示された12の評価項目が改訂された幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連で考えられ、実践されていた点である。

今日の幼児教育が、そのあるべき姿を求めるとき、「環境を通じた教育」が「遊びを通しての総合的な指導」において実現されることに理解を深めながら「楽しい活動」と「10の姿」を見通した「食育」の1年間の実践であった点において、評価委員会はこれを限りなく高く評価した。

当園の食育の実践とその内容については、当年度の実践について高く評価できるばかりでなく、さらにその内容の拡がりや深まりが、個々の子どもの育ちにおいて期待できることから、次年度も「食育」を特色ある実践課題として深めて欲しい旨、委員会より要請した。

以上、当年度の学校評価委員会は課題に対する総合評価を「A+」とする。

評価委員会委員長 平野良明

評価委員 廣田和久

評価委員 谷口昭博

平成 30 年度 札幌第二幼稚園学校評価

テーマ

『 子どもたちに食の楽しさと大切さを伝える～園生活を通しての食育 』

1、テーマの趣旨

札幌大谷第二幼稚園における平成 30 年度学校評価は、「学校関係者評価」に取り組んで 9 年目となりました。

当園では、幼児期の食体験は、心と体の成長に密接に関係し、子どもたちの育ちに大きな影響を与えるものであると考えています。そのため、園庭に畑を作り子ども達が苗や種植え、水やりをして育て、成長した野菜を自分たちで収穫し、食べる（調理をする）ことを保育の活動に取り入れてきました。四季を感じるものや、伝統的な食文化も意識して取り入れるようにしています。

また、仏教園であることから特に、「いのちをいただくことで、自分たちが生かされていることに感謝をする」こと、食べることに感謝の気持ちを言葉で表す「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶の大切さも伝えてきました。

食事の時間は、「バランスの取れた食事を摂る」「一日 3 回決まった時間に食事をする」「家族や友だちと食卓を囲んでコミュニケーションを取る」「食事のマナーを守る」など、社会性を身に付ける場であると共に、大好きな人と楽しく会話をしながら食事をするひとは、とても幸せな時間です。大人になっても、その時の情景や味が懐かしく思い出され、心が温かくなることもあります。

一方、一人で食事をする「孤食」や家族がバラバラのメニューを食べる「個食」好きな物しか食べない「固食」食べる量が少なすぎる「小食」など、飽食化やライフスタイルの多様化、家族構成の変化などを背景に食生活が乱れやすくなっています。幼稚園での食育活動を通しての子どもたちの育ちや、職員一人ひとりの意識や想い、家庭でのマナーなど、今一度皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

2、平成 30 年度学校評価の実施手順等について

今回実施する学校評価の手順等は次のとおりです。

①重点目標の設定、評価項目の設定、	10 月
②学校評価委員会の開催 (1)	12 月
③教職員の説明・周知	12 月
④教員自己評価の実施	1 月
⑤保護者アンケートの実施	1 月
⑥幼稚園自己評価の実施	3 月

- | | |
|----------------|----|
| ⑦学校評価委員会の開催（2） | 3月 |
| ⑧学校評価書報告・公表 | 5月 |

尚、この自己点検結果は、学校評価委員会報告と共に、学園理事会に報告されその後、概要を公表する予定です。

3、平成30年度学校評価のテーマ（重点目標）と評価項目

(1) 重点目標

『子どもたちに食の楽しさと大切さを伝える～園生活を通しての食育』

(2) 評価項目

- 1 子どもたちの「食」や食を通しての「元気（健康）」への関心を育てているか
- 2 子どもたちの「お腹が空く感」、「食事のリズム感」形成へ繋がる保育活動は出来ていたか
- 3 子どもたちが色々な「食」に出会えるように努めていたか
- 4 「食」を通して、友達との人間関係を育てられているか
- 5 食事のマナーを育てることが出来たか
- 6 「食行事」を通じて、伝統文化や地域文化と触れ合えているか
- 7 季節感を感じる給食食材に配慮していたか
- 8 自然と触れ合いながら、「食」に興味をもつことが出来たか
- 9 「食」を育てる人や作る人等への感謝や「いのち」をいただくことへの感謝の気持ちを育てられたか
- 10 食事の片付けなどを通して、子どもたちの人の為に役に立てることの喜びや自立心を育てることが出来ているか
- 11 子ども一人ひとりの「食」についての情報を保護者と密接に共有出来たか
- 12 園の「食育」への取り組みを地域に発信出来たか

4、《教員自己評価》

I 『食育』についての理解を深める

- 1-1 この一年、『食育』に関することについて何か学んだことはありますか
- 1-2 『食』に対する環境作りは“子どもたちの健やかなころや身体の育ち”に関連していることについて、理解を深めたことはありますか
- 1-3 日頃から『食育』を保育の活動に取り入れるために、何か工夫をしていますか

ている教職員が 80%以上と多く答えていましたが、保護者からも子どもたちが食べているメニューをほぼ知っている回答であったので、その点については伝わっていたように思います。

しかし、保護者の方の食育活動に興味、関心がある一方で、教職員は興味をもってもらえるような働きかけが出来ないとの評価が多く「どのようにしたらしっかりと、伝えられるのか」との迷いがあるように思います。興味、関心があり積極的に関わりたいが、教職員一人一人の環境や育ちからの食に対する考え方や思いがあり、自信を持って発信することができていないことがみえてきました。このことから、教職員自信が『食育』に対して、もっと興味、関心を持ち楽しく活動する体験を持つことが必要であると感じました。。実体験することで自信を持って、保護者や子どもたちにも楽しさ、大切さを伝えることが出来ると思います。このような現状から、5段階評価の3と評価しました。やはり、Iの結果と同様に教職員の共通理解が不可欠であり、学びの機会を設けること、一人一人が受け身ではなく、互いに意識しながら研鑽を積んでいって欲しいと願っています。

6、最後に

今年度の学校評価は「子どもたちに食の楽しさと大切さを伝える～園生活を通しての食育」といった、当幼稚園がこれまで取り組んできた保育に関係の深い食育についての学校評価と致しました。当園では以前から、『食育』が子どもたちの心と体の成長に密接に関係し、育ちに大きな影響を与えるものであるとの考えから今年度の重点目標を決めました。

当幼稚園が積極的に取り組んできた「食育」に対する保護者の方の理解が広がっていることを実感したと共に、教職員一人一人の食育に対する思いや意識の違いが浮き彫りとなりました。しかし、どの教職員にも共通していたことは「食事は楽しい時間であること」でした。生きていく上で絶対に欠かすことの出来ない「食」が、素敵な記憶として残ることが、子どもたちにとって心の育ちにも大切であるとの教職員の思いを、これからの食育の活動にもしっかりと反映出来るようにしていきたいと願っています。今年度の学校評価で見えてきた課題を踏まえて、次年度の研修の組み立てを行って行きたいと願っています。

今後とも皆さま方より一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の点検、評価にご協力頂きました保護者の皆様、評価委員の皆様方に対しまして、心より感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

札幌大谷第二幼稚園
園長 松田 志穂

- 1-4 子どもたちにとって、『食育』の保育活動は良い結果をもたらしていると思いますか
- 1-5 なかよし畑での野菜の栽培は『食育』の保育活動に必要だと思いますか
- 1-6 給食で子どもたちの苦手な食べ物がある場合どのように対応していますか
- 1-7 食事の際に、気を付けていることはありますか
- 1-8 一日三食、食事をしていますか

II 家庭を通じて子どもたちの『食育』への興味、関心を高める

- 2-1 家庭に対して子どもたちの『食育』への興味をもってもらえるような働きかけができましたか
- 2-2 園で行っている『食育』の活動について保護者の方に情報提供をしましたか

5、点検結果 現状・課題・改善方向

I 当園の「食育」の理解、取り組みについて

『食育』について学んだことがあると答えた教職員が半数を超えている点は評価したいと思うが、同様の問いにおいてあまり学んだことがない…27%、学んだことがない…13%と答えた教職員がいる現状を問題視したい。畑の活動、給食で食育について触れる機会が多いが、活動の中に身近に取り入れられていることで、教職員一人一人が意識して学ぶことや工夫することが、少ないように思われます。特に朝、帰りのコーナー遊びの中に『食育』の活動を多く取り入れるため、自分が食育のコーナー担当をしていない時の関心が低いように思います。担当していない時においても、担当職員にだけ任せるのではなく、栽培、食材の調理の仕方など教職員で共通理解、共有し学びを深めていく必要があると思います。

また、『食育』の保育活動において、子どもたちにとって良い結果をもたらしているとの問いには教職員…93%、保護者は100%であり、『食育』活動の大切さと必要性を再確認しました。

しかし、『食育』の活動が良い結果であると答えている教職員が多くいても、自ら積極的に学んだり、工夫したり、子ども達に発信することが少ないことが今回の教員自己評価から、みえてきました。四季を感じるもの、伝統的な食文化、保護者や子どもたちへの発信の仕方の共通理解、食材の調理の仕方、畑の活動も園内研修等で取り入れ、見直しや充実を図っていきたいと思います。

以上の様々な面から、これから園として行うべき課題がみえてきました。

5段階評価の2と評価します。

II 「食育」への興味、関心について

園で朝、帰りのコーナー遊びで行っている『食育』の活動の情報提供は積極的に行っ

平成 30 年度

札幌大谷第二幼稚園保護者アンケート票

※複数のお子様を通園させて下さっている保護者の方におかれましては、家庭ごとで
ご記入をお願いします。

※該当する番号、又はそれに最も近いものに○をして下さい。

I お預かりしているお子様についてお尋ねします。

1 お預かりしているお子様の学年

①年少 ②年中 ③年長 (通園児が複数の場合は該当するものすべてに○)

2 子どもの人数は、() 人で、当園を卒園した兄弟は、(①いる ②いない)

3 お預かりしているお子様を含め、他園への通園経験の有無 ①有 ②無

4 家庭でのインターネット(電子メール)環境の有無 ①有 ②無

5 主に送迎をされる保護者の方の携帯電話の有無 ①有 ②無

5で①と答えた方のみ、お答え下さい。

その携帯電話で地図アプリは見ることはできますか

①できる ②できない ③わからない

II 次に当園の雰囲気についてお尋ねします。

6 当幼稚園の雰囲気に親しみを感じますか

①大いに感じる ②とても感じる ③あまり感じない ④感じない

III 次に当園の「食育」の保育への取り組みについてお聞きします。

- 7 当幼稚園が『食育』を保育活動に取り入れて行なっていることは、入園前から知っていましたか
- ①よく知っていた ②少し知っていた ③ほとんど知らなかった
- ④全く知らなかった
- 8 入園前に『食育』の保育活動について、十分な説明はありましたか
- ①十分にあった ②少しあった ③あまりなかった ④全くなかった
- 9 当幼稚園で『食育』の保育活動が行われていることは、幼稚園を選択する際に参考としましたか
- ①大いに参考にした ②少し参考にした ③あまり参考にしなかった
- ④全くしなかった
- 10 あなたのお子さんにとって当幼稚園の『食育』の保育活動は良い結果をもたらしていると思いますか
- ①大いに結果をもたらしている ②良い結果をもたらしている
- ③あまり良い結果ではない ④良い結果ではない ⑤わからない
- 11 当園で行なっている『食育』の保育活動で知っているものは何ですか（複数回答可）
- ヨモギ餅つき タンポポの葉のふりかけ ゆでとうもろこし ホットケーキ
- ゆでじゃがいも 流しそうめん チャンチャン焼き ラディッシュの酢漬け
- スイカ割り ジャム作り（イチゴ、リンゴ、ブルーベリー） 焼きリンゴ
- 年長カレーライス作り 昆布（焼く、煮る） ピザ（ソースから作る）
- なかよし畑の野菜の試食（トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、ダイコン等）
- アイスクリーム（冬に園庭で、アイスの材料を入れた缶を蹴って作ります）
- いももち ハッシュドポテト お汁粉 豚汁

IV 次に家庭での『食育』についての取り組みについてお聞きします。

12-1 家庭でも『食育』を生活の中に取り入れていますか

- ①大いに取り入れている ②取り入れている ③あまり取り入れていない
④全く取り入れていない ⑤わからない

12-2 ①、②と答えた方にお聞きします

どのようなかたちで『食育』を取り入れていますか

具体的に記入をして下さい (例 一緒に料理をする、野菜の栽培、買い物に行く等)

13-1 食事の時間は決まっていますか (朝、夕食のみ)

- ①毎食決まっている ②ほぼ決まっている ③あまり決まっていない
④決まっていない ⑤その他 ()

13-2 朝食 (時) 起床時間 (時)
夕食 (時) 就寝時間 (時)

13-3 食事を食べ終えるまでどのくらいの時間がかかりますか

- ①30分以内 ②1時間以内 ③2時間以内
④2時間以上 ⑤その他 ()

14 苦手な食べ物がある場合どのように対応をしていますか

- ①食事に出さない ②少しだけ盛り付ける ③一口でも食べるよう促す
④切り方、メニューなどを工夫して出す ⑤その他 ()

15 ランチサポーターをしたことがありますか

- ①したことがある ②したことがない

16 エジソン箸を使用したことがありますか

①現在使用している ②使用していた ③使用していない

④エジソン箸は必要ない ⑤その他 ()

17 食事をする際に、特に心掛けていることはありますか

具体的に記入して下さい (例 正しく箸を持つ、テレビを消す 等)

18-1 お子さんに伝えたい料理はありますか

①ある ②ない ③わからない ④その他 ()

18-2 ①と答えた方にお聞きします

それは、どのような料理ですか 具体的に記入をして下さい

(例 おせち料理、出身地の郷土料理、得意料理など …料理名も記入して頂けると嬉しいです)

多数の質問にお答えいただきまして、ありがとうございました。

V 自由意見

当園に対する、ご意見、ご質問、ご要望などございましたら、何でも結構ですので自由にお書き下さい。